

平成28年度 見附市社会科部 活動報告

部長 相馬 充

1 研究主題 地域教材の開発 ～今町地域の歴史探訪を通して～

2 研究の概要

見附市の今町地区は、かつては川湊であり、魅力的な町並みがある。また、戊辰戦争における「今町戦争」にかかわる史跡、神社仏閣がある。歴史と文化の残る地域である。

そこで、住民のガイドグループ「なびらーず」の案内のもとに今町地区について歴史を中心に学ぶことで、地域の理解を深めるとともに地域の教材化を図り、授業改善に生かしていけるようにする。

3 研究の実際

(1) 期日 平成28年8月22日(月)

(2) 会場 道の駅パティオ新潟を中心とした今町地域

(3) 内容 ①ジオラマによる地域の説明 ②今町地域の歴史探訪 ③凧会館の説明

① ジオラマによる地域の説明について

「なびらーず」から、パティオ新潟にあるジオラマをもとに、今町地域の説明をしていただいた。今町地域は、戊辰戦争の折に新政府軍と同盟軍が戦火を交えた舞台である。ジオラマで位置を確認しながら、新政府軍と同盟軍の戦い方について説明を受けたり、地域の人々が受けた被害について話を聞いたりした。別な地域では英雄として扱われる人物も、今町においては火事の被害をもたらした人物として紹介された。地域や立場によって、同じ人物であっても評価が分かれている。歴史を考える際には、見る立場や背景について理解を深め、多角的にとらえることが大切であると感じた。

② 今町地域の歴史探訪について

3つのグループに分かれ、「なびらーず」の方を講師として今町地域を歩きながら歴史を学んだ。今町地域には、渋谷邸や永閑寺、神明宮等、戊辰戦争にかかわった史跡がある。中には、戦火の折に焼失し、再建されたものもある。こうした史跡を見て回りながら、それぞれについて丁寧な説明をいただいた。また、今町はかつて刈谷田川の水運を生かし、川湊として栄えた地域である。「暴れ川」であった河川を改修したことや、道の傾斜にも川沿いであった痕跡が残っていることなどを説明していただいた。



③ 凧会館の説明について

今町地域を歩いた後、凧会館に集合し、今町地域の伝統である凧合戦について説明をいただいた。凧合戦の歴史や、人々の思いを聞き、地域が伝統を大切にして文化を伝えていることが分かった。

4 成果と課題

講師の説明を受けながら地域を歩くことにより、地域の歴史を体感しながら学ぶことができた。また、地理的な特徴と歴史が深く結びつくことが分かり、今町地域の発展の様子について理解を深めることができた。この研修で学んだことを授業に生かすとともに、今後も地域教材の研究を深め、地域に学ぶ児童を育てていきたい。